



# 遠大勵志

新型コロナニモ、熱中症ニモ負ケズ

## 体育祭完全開催！

7月19日(月)、20日(火)、そして8月24日(火)の3日間、本校の一大行事・体育祭が、北上総合運動公園と本校を会場に完全開催されました。



19日と20日は大変な暑さで、青森県のある高校の体育祭では10数名の生徒が熱中症で緊急搬送されたそうですが、同じ日に行われた本校の体育祭は、生徒の皆さんのこまめな水分補給と体調管理、そして

総合運動公園の空調環境のおかげで、熱中症様の症状で救護室に来た生徒さんは少数であったとのことでした(養護教諭の金森 舞先生談)。



開会式の後、1日目は男女のバレーボール、ソフトボール、そしてバドミントンに熱戦が繰り広げられ、2日目は男

女のバスケットボール、男子のサッカー、女子のドッジボール、卓球、全体競技の背渡りの予選と、ほぼ予定通りのスムーズな進行は、生徒会による綿密なスケジュール管理と、審判に当たった各運動部の生徒諸君の的確な運営の賜だったと思います。高校の



生徒会行事で、これは実にまれなことです。

開会式の選手宣誓がウケるのも、実にまれなことですww。



日を置いて開催された3日目は、本校が会場となりました。



バスケ、バレー、バドミントンの準決勝、決勝に進出するクラス以外の生徒諸君のために新種目ストラックアウトが加わり、さらに決勝の様子を校内3カ所の教室に動画配信するなど、生徒諸君がみんなで盛り上がるような新規の工夫が盛り込まれました。



午後には予定されていた棒リレーの他に借り人競争、そしてクラス対抗お笑いグランプリ(!)が開催され、最後は男女混合最強リレーで今年の体育祭はグランドフィナーレを迎えました。



閉会式では、この行事で引退する執行部の3年生から新執行部への引き継ぎがあり、応援部から旧執行部へのエールで幕を閉じました。笑いで始まった開会式、熱い戦いの連続、そして涙の閉会式と、このように「エモい」体育祭は、実にまれです。



MLBの菊池 雄星投手のお父様は常々、「人生は思い出づくり」とおっしゃっていたそうですが、今年の体育祭は、確実に生徒の皆さんの思い出に残る行事になったのではないかと思います。



誰かがお膳立てしてくれたものにただ乗っかっただけでは、思い出はそれほど残らないように思います。

自ら進んで全力で楽しもうというポジティブな姿勢があつて、初めて思い出は深く心に刻まれるように思います。

今回も、達下先生にたくさん写真を撮っていただきました。中でもこの↑写真(閉会式を終えて校舎に戻る皆さんの背中)はいいですね。タイトルをつけるとしたら何でしょう？

なんつってたら文化部発表会のスペースがなくなっちゃいました！刮目して次号を待て！！